

# かけがえのない農地を守る

農業委員会がお手伝いします

農業の生産性を高め、競争力を強化していくには、担い手に農地を累積・集約し、生産コストを削減していくことが必要です。

勝山市農業委員と推進委員は、この目的に向けて最適化活動に取り組んでいます。

## 最適化推進に必要なもの

- ① 担い手への農地集積・集約
- ② 遊休農地の防止・解消
- ③ 新規参入の推進



農地所有者の意向把握



集落での話し合い

## 高齢者が支える勝山市の農業

勝山市の農業の実情を把握するため、農業委員会は、平成31年2月～3月にかけて30a以上の農地を所有または経営する方に対してアンケートを実施しました。(回答数702件) その結果、農家の約8割が60歳以上、約6割が後継者がいない、約7割が10年以内にリタイアを考えているなど、高齢化・後継者不足の実態が浮き彫りになりました。

全国的にも、農業者の高齢化、後継者不足など農業経営は厳しい状況に直面しています。

特に中山間地域にある農家は、平地と比べて規模拡大に制約があり深刻な状況です。

## 課題解決のための人・農地プラン

集落・地域が抱える、人と農地の課題を解決するため、農業委員会では集落ごとに「人・農地プラン」を作成する取り組みを進めています。

「人・農地プラン」は地域の実情を調査し、5～10年後に地域の中心となる経営体に農地を集約していくための方針を作成するものです。

令和2年より農業委員会などの各機関が各集落・地域に出向きプラン作成をお手伝いします。プランの作成期限は令和3年3月末です。

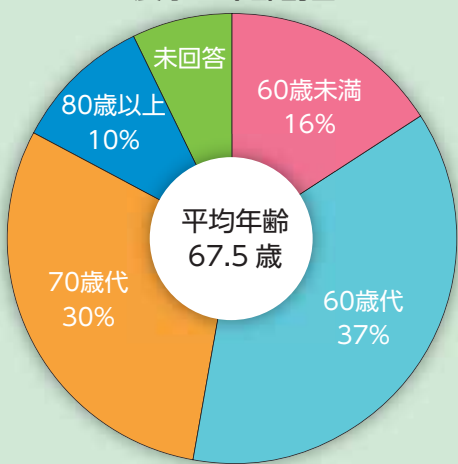
勝山市農業委員会(市役所1階)

☎ 88・8115

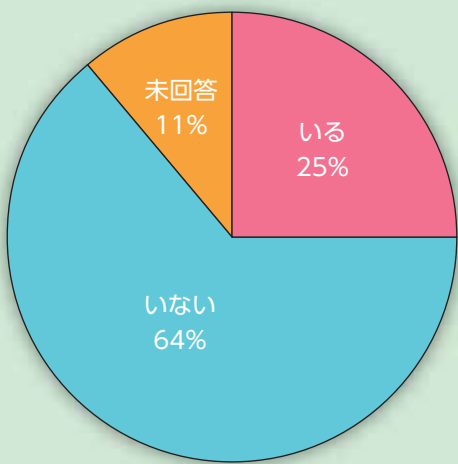
## 勝山の農家の今

農業経営に関する意識調査の結果より  
(令和元年6月 勝山市農業委員会)

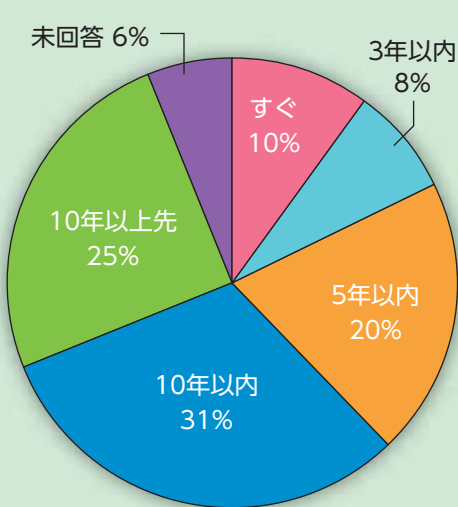
### 農家の年齢割合



### 後継者の有無



### リタイアを考えている時期



# 放置しないで！サトイモのびんみ



## 奥越でも病気が発生

夏場の高温、長雨などにより発生したサトイモの病気が、家庭菜園でも発生していた可能性がります。

来年の病気の発生を防ぎ、特産サトイモを守るため、以下の作業に協力をお願いします。

## サトイモのびんみは土の中へ

◆ 廃棄するサトイモの葉や茎、芋は、今のうちに来年作付けする水田や畑の中に捨て、完全に埋めましょう  
◆ 山や河川敷への投げ捨てや、田んぼ畦への野積みは避けましょう

なお、病気によるサトイモの食味などに影響はありません。詳しくは左記までお問い合わせください。

## 問 J A テラル越前

- 本店 宮農政策課 ☎ 65・1251
- 同勝山南支店 ☎ 88・0341
- 同勝山中支店 ☎ 88・0342
- 同勝山北支店 ☎ 89・2003
- 奥越農林総合事務所 農業経営支援部 ☎ 65・1491



サトイモの葉や茎に発生している病斑

## 宝くじ助成金で整備しました

大渡区が祭礼行事や生活改善センター周辺除雪に必要な備品を整備。祭礼行事を更に活性化して区民の親睦を深めるほか、除雪の負担を軽減します。



除雪機 負担を軽減します。



物置



提灯修理

西妙金島区がイベント開催や奉仕活動に不可欠な各種備品を整備。地域コミュニティ活動の活性化や清掃などの奉仕活動に取り組みます。



テント



草刈り機



物置



炭焼きコンロ

## 勝山市水道事業業務状況(上半期)

期間▼平成31年4月1日～令和元年9月30日

### 業務の概要

上半期の給水量は117万立方メートル(前年度比3.35%減)、給水収益は1億6381万円(前年度比3.20%減)となり、給水量、給水収益とも前年度を下回りました。

### 事業の概況

市民の日常生活の基盤として安全で清浄な水の供給を図るため、勝山市上水道第8次拡張事業変更事業計画に基づき、拡張および改良事業を実施しています。

上半期の建設改良工事および業務委託の契約額は計1億1816万円で、主な事業は次のとおりです。

- ◇改良事業
  - 若猪野水源池 2号井実施設計業務委託(若猪野地係)
  - 鹿谷水源池 取水流量計更新工事(鹿谷町保田地係)
  - 雁ヶ原配水池(立川上水道管理センター 遠方監視設備更新工事(170字奥山ほか地係))
  - 新道配水池 No.1次垂注入
- 問 上下水道課(市民会館2階) ☎ 88・8109